

わかりやすい問答方式
(議会活性化特別委員会)



松伏町議会活性化特別委員会では、町民に開かれた議会をめざし、できるものから随時議会改革を実施しています。現在、一般質問については一問一答方式を採用し、傍聴者からみても質問と答えの関係がわかりやすくなりました。しかし、議案質疑については一括で質疑を行っています。そこで、2月10日に議案質疑の一問一答方式を採用している鳩山町を視察し、委員から熱心に質問や意見交換がされました。

議会の「わかりやすい問答」の改善へと進めていきたいです。

大学の英知の活用
(文教民生常任委員会)



平成26年2月4日、宮代町に出向き、社会教育と社会体育の特色ある取組みを視察しました。

社会体育の町民体育祭は、人口減少に直面し、参加者を集めるのに苦労しているようでした。

社会教育では、日本工業大学と協定に基づく子ども大学や町民講座を実施しています。松伏町は大学との連携協定は無く、研究の余地があると感じました。

ただ、「子ども大学」は越谷市がすでに実施している事業に参画しようと計画しています。